

SAC 咲っく南花台での実践的取り組み

(戦略基盤)地域再生センター

江川直樹(環境都市工学部 建築学科 教授)、○宮崎篤徳(先端科学技術推進機構 PD)、○関谷大志朗(関西大学佐治スタジオ研究員)
プロジェクトメンバー: 岡絵理子、末包伸吾、鳴海邦碩、橋寺知子、大坪明、糟谷佐紀、小浦久子、小玉祐一郎、高田光雄、林泰義、平山洋介、藤本昌也、星田淳郎、室崎千重
安原秀、荒木公樹、井上洋司、角橋徹也、菊田純一、佐藤健正、谷川順彦、畑中博、藤岡栄、増永理彦、山本茂、三谷幸司、倉知徹、宮崎篤徳、出町慎
学生メンバー: 保持尚志、福本優、因田恭崇、岡本悠志、奥川翔、河股智矩、塚原健司、福間航、山本楓、毛程遠、高木翔平、牧角雄
銅田匠馬、大田美奈子、奥野智士、熊崎悠紀、柴田太郎、中馬啓太、中野圭介、橋本祐紀、山中晃

研究概要・成果

2014年9月より、大阪府河内長野市南花台地区では、「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業(愛称:咲っく南花台わくわくプロジェクト)の取り組みが開始され、公民学連携の体制で取り組んでいる。ワーキンググループ(以下WG)【地域住民との交流WG】【みんなの拠点づくりWG】【健康仲間づくりWG】【生きがいづくりWG】【まちの情報発信WG】【子育て・子育て環境づくりWG】【ストック活用WG】を設定し、それぞれ専門分野を活かしWG毎に活動しながら、活動の進捗状況や情報共有を行い、議論する場として総合研究会やワーキングリーダー会議を設け、各WG連携のもと事業を進めている。

2015年10月3日にはまちづくり活動拠点として、365日オープンを目指す地域住民のコミュニティ拠点「コノミヤテラス」をコノミヤ南花台店2階に開設した。現在は、関西大学の学生を中心に、常駐して運営を行い、地域住民が主体的に運営していく仕組みを模索している。コノミヤテラスが各WGの取り組みの実践の拠点となり、活動は広がりを見せている。



咲っく南花台のロゴ

活動の舞台、南花台地域を眺める
賃貸集合住宅団地と戸建て住宅からなるニュータウン



コノミヤテラス内部の様子
河内材を使用した床が特徴



コノミヤ塗ってみよう会の様子
学生主導のDIYで地域を巻き込む

午前10時のラジオ体操
健康仲間づくりにつながる



カヌーづくりプロジェクト
地域の大人、子ども、学生が
一緒にカヌーをつくりあげた

住民集会の様子



「スマートエイジング・シティ」とは・・・

「健康寿命の延伸」を大目標に、高齢者だけでなく、いろいろな世代の人たちが、住み慣れた場所で安心して暮らすことができ、快適に住み続けられ、みんなが健康で自律して、生活できる「まち」の意。(造語)



問合せ先: 関西大学 環境都市工学部 江川直樹 E-mail: egawa@kansai-u.ac.jp

関大ORDIST

先端科学技術推進機構
社会連携部 産学官連携センター、知財センター